

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年8月10日

【四半期会計期間】 第97期第2四半期(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

【会社名】 大倉工業株式会社

【英訳名】 Okura Industrial Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高瀨 和則

【本店の所在の場所】 香川県丸亀市中津町1515番地

【電話番号】 丸亀0877(56)1111番(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役常務取締役 コーポレートセンター担当兼経理部長 豊田 員史

【最寄りの連絡場所】 東京都豊島区東池袋3丁目13番2号

【電話番号】 東京03(6912)5041番(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員東京支店長 安部 昭男

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
大倉工業株式会社 東京支店
(東京都豊島区東池袋3丁目13番2号)
大倉工業株式会社 大阪支店
(大阪市西区立売堀1丁目3番13号)

(注) 上記支店は金融商品取引法の規定に基づく備置場所ではありませんが、
投資者の便宜のために備え置き縦覧に供するものであります。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第96期 第2四半期 連結累計期間	第97期 第2四半期 連結累計期間	第96期
会計期間		自平成27年1月1日 至平成27年6月30日	自平成28年1月1日 至平成28年6月30日	自平成27年1月1日 至平成27年12月31日
売上高	(百万円)	41,878	42,568	85,996
経常利益	(百万円)	1,134	2,023	2,326
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	752	1,422	1,191
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,743	25	1,756
純資産額	(百万円)	38,694	38,316	38,739
総資産額	(百万円)	87,131	82,092	87,801
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	12.62	23.85	19.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	44.4	46.7	44.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,331	3,258	5,756
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,532	914	2,139
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	375	2,588	3,042
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	7,166	7,063	7,385

回次		第96期 第2四半期 連結会計期間	第97期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自平成27年4月1日 至平成27年6月30日	自平成28年4月1日 至平成28年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	10.78	16.67

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速懸念に加えて、英国の欧州連合離脱決定以降、一層進んだ急激な円高・株安の影響が加わり、企業収益に陰りが見られ始めるとともに個人消費も力強さを欠くなど、景気は先行き不透明な状況となってまいりました。

このような状況のもと、当社グループでは、地道な販売活動に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は425億6千8百万円と前年同四半期比1.6%の増収となりました。

利益面では、合成樹脂事業における原材料価格低下の影響等により、営業利益は21億2千2百万円（前年同四半期比79.6%増）、経常利益は20億2千3百万円（前年同四半期比78.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億2千2百万円（前年同四半期比89.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔合成樹脂事業〕

営業活動の強化によりシュリンクフィルムを中心に販売数量が前年同四半期比4.7%増加しました。しかしながら販売単価引き下げの影響により、売上高は240億8千5百万円（前年同四半期比2.7%増）にとどまりました。営業利益は、原材料価格が低下したうえにコスト削減にも努めた結果23億4千5百万円（前年同四半期比48.3%増）となりました。

〔新規材料事業〕

スマートフォン市場の成長が鈍化している影響により、売上高は115億3千9百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。一方、営業利益は生産効率の改善や固定費の削減により2億6千1百万円（前年同四半期比70.3%増）となりました。

〔建材事業〕

パーティクルボードがフロア関連向けに伸びたことにより、売上高は39億9千万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。営業利益は、生産工程の一部で不具合が発生した影響により2千9百万円（前年同四半期比25.5%減）となりました。

〔その他〕

木材加工（プレカット）事業並びに宅地造成及び建物建築事業を中心に売上が増加したため、売上高は29億5千4百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。営業利益は前年同四半期に多額の貸倒引当金を積み増した反動増もあり2億9千8百万円（前年同四半期比96.6%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億2千1百万円減少し、70億6千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は32億5千8百万円（前年同四半期は23億3千1百万円の増加）となりました。

これは、主として減価償却費20億7千7百万円、売上債権の減少額19億2千6百万円、税金等調整前四半期純利益18億4千7百万円による資金の増加と、仕入債務の減少額24億7千3百万円による資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は9億1千4百万円（前年同四半期は15億3千2百万円の減少）となりました。

これは、主として合成樹脂事業における製造設備などの有形固定資産の取得による資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は25億8千8百万円（前年同四半期は3億7千5百万円の減少）となりました。

これは、主として借入金の減少17億7千万円、配当金の支払い4億4千3百万円、リース債務の返済3億7千3百万円による資金の減少によるものです。

(3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は4億4千3百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	140,108,000
計	140,108,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成28年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成28年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	62,074,351	62,074,351	東京証券取引所 (市場第一部)	(注)
計	62,074,351	62,074,351		

(注) 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成28年4月1日～ 平成28年6月30日		62,074		8,619		9,068

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	平成28年6月30日現在
			発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
住友化学株式会社	東京都中央区新川二丁目27番1号	4,818	7.76
株式会社中国銀行	岡山県岡山市北区丸の内一丁目15番20号	2,911	4.69
オークラ共栄会	香川県丸亀市中津町1515番地	2,500	4.03
株式会社百十四銀行	香川県高松市亀井町5番地の1	1,920	3.09
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	1,875	3.02
住友林業株式会社	東京都千代田区大手町一丁目3番2号	1,579	2.54
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,561	2.51
大倉工業従業員持株会	香川県丸亀市中津町1515番地	1,371	2.21
三井住友海上火災保険 株式会社	東京都千代田区神田駿河台三丁目9番地	1,358	2.19
J S R 株式会社	東京都港区東新橋一丁目9番2号	1,317	2.12
計		21,211	34.17

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式2,444,870株(3.94%)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	平成28年6月30日現在
			内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,444,000		単元株式数1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 59,056,000	59,056	同上
単元未満株式	普通株式 574,351		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	62,074,351		
総株主の議決権		59,056	

(注) 単元未満株式数には、当社保有の自己株式870株が含まれております。

【自己株式等】

平成28年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
大倉工業株式会社	香川県丸亀市中津町 1515番地	2,444,000		2,444,000	3.94
計		2,444,000		2,444,000	3.94

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年1月1日から平成28年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,385	7,063
受取手形及び売掛金	25,534	23,466
電子記録債権	1,633	1,770
有価証券	56	
商品及び製品	4,691	4,257
仕掛品	964	951
原材料及び貯蔵品	3,052	3,123
販売用不動産	156	172
繰延税金資産	145	243
その他	523	492
貸倒引当金	22	20
流動資産合計	44,120	41,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,056	17,508
機械装置及び運搬具（純額）	8,435	7,634
土地	6,489	6,489
建設仮勘定	583	366
その他（純額）	421	397
有形固定資産合計	33,987	32,396
無形固定資産	355	288
投資その他の資産		
投資有価証券	8,624	6,681
繰延税金資産	83	580
その他	703	698
貸倒引当金	72	73
投資その他の資産合計	9,338	7,887
固定資産合計	43,680	40,572
資産合計	87,801	82,092

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,808	15,328
短期借入金	9,377	7,432
1年内返済予定の長期借入金	3,036	2,981
リース債務	568	206
未払法人税等	602	519
設備関係支払手形	12	3
その他	5,975	5,550
流動負債合計	37,381	32,022
固定負債		
長期借入金	6,704	6,914
リース債務	20	8
繰延税金負債	140	18
退職給付に係る負債	3,755	3,802
その他	1,058	1,008
固定負債合計	11,679	11,753
負債合計	49,061	43,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	19,133	20,108
自己株式	833	835
株主資本合計	35,988	36,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,800	1,412
為替換算調整勘定	179	161
退職給付に係る調整累計額	237	226
その他の包括利益累計額合計	2,742	1,348
非支配株主持分	8	6
純資産合計	38,739	38,316
負債純資産合計	87,801	82,092

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	41,878	42,568
売上原価	36,300	35,938
売上総利益	5,578	6,630
販売費及び一般管理費		
販売手数料	83	95
運送費及び保管費	1,310	1,368
給料	990	1,005
賞与	207	292
役員報酬	143	137
退職給付費用	73	62
減価償却費	73	86
研究開発費	536	443
貸倒引当金繰入額	57	0
その他	920	1,015
販売費及び一般管理費合計	4,396	4,507
営業利益	1,181	2,122
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	69	72
為替差益	31	
雑収入	70	78
営業外収益合計	173	151
営業外費用		
支払利息	136	104
為替差損		113
持分法による投資損失	69	
雑損失	15	33
営業外費用合計	221	251
経常利益	1,134	2,023
特別利益		
固定資産売却益	22	
特別利益合計	22	
特別損失		
固定資産除売却損	57	166
投資有価証券評価損		0
特別退職金	3	8
特別損失合計	60	175
税金等調整前四半期純利益	1,096	1,847
法人税、住民税及び事業税	300	559
法人税等調整額	43	133
法人税等合計	343	426
四半期純利益	752	1,421
非支配株主に帰属する四半期純損失()		0
親会社株主に帰属する四半期純利益	752	1,422

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	752	1,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	954	1,387
為替換算調整勘定		19
退職給付に係る調整額	22	11
持分法適用会社に対する持分相当額	13	
その他の包括利益合計	991	1,395
四半期包括利益	1,743	25
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,743	27
非支配株主に係る四半期包括利益		2

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,096	1,847
減価償却費	2,085	2,077
貸倒引当金の増減額(は減少)	55	0
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	17	46
受取利息及び受取配当金	72	73
支払利息	136	104
為替差損益(は益)	6	101
持分法による投資損益(は益)	69	
投資有価証券評価損益(は益)		0
固定資産除売却損益(は益)	26	162
売上債権の増減額(は増加)	2,544	1,926
たな卸資産の増減額(は増加)	172	336
仕入債務の増減額(は減少)	2,820	2,473
その他	322	96
小計	2,602	3,960
利息及び配当金の受取額	71	73
利息の支払額	148	106
法人税等の支払額	194	668
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,331	3,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,739	916
有形固定資産の売却による収入	72	0
補助金の受入による収入	165	3
投資有価証券の取得による支出	10	4
貸付金の回収による収入	2	2
その他	22	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,532	914
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	445	1,930
長期借入れによる収入	6,150	1,800
長期借入金の返済による支出	6,164	1,640
リース債務の返済による支出	357	373
自己株式の取得による支出	3	1
配当金の支払額	444	443
財務活動によるキャッシュ・フロー	375	2,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	76
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	426	321
現金及び現金同等物の期首残高	6,739	7,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 7,166	1 7,063

【注記事項】

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	
<p>(会計方針の変更)</p> <p>(企業結合に関する会計基準等の適用)</p> <p>「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。</p> <p>企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項(4)、連結会計基準第44 - 5項(4)及び事業分離等会計基準第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。</p> <p>なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。</p> <p>(減価償却方法の変更)</p> <p>当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。</p> <p>なお、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。</p>	

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	
<p>(固定資産除売却損)</p> <p>固定資産除売却損には、新基幹システム導入計画の見直しに伴い、これまで固定資産に計上しておりました導入費用127百万円の除却が含まれております。</p>	

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
オー・エル・エス(有)	2,097百万円	オー・エル・エス(有)	1,800百万円
中讃ケーブルビジョン(株)	241 "	中讃ケーブルビジョン(株)	267 "
計	2,338百万円	計	2,067百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
現金及び預金	7,166百万円	7,063百万円
現金及び現金同等物	7,166百万円	7,063百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月24日 定時株主総会	普通株式	447	7.50	平成26年12月31日	平成27年3月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月23日 定時株主総会	普通株式	447	7.50	平成27年12月31日	平成28年3月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,443	11,904	3,851	39,199	2,679	41,878		41,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10			10	249	259	259	
計	23,454	11,904	3,851	39,209	2,928	42,138	259	41,878
セグメント利益	1,581	153	40	1,775	151	1,927	745	1,181

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 745百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 744百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,085	11,539	3,990	39,614	2,954	42,568		42,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2			2	247	250	250	
計	24,087	11,539	3,990	39,616	3,201	42,818	250	42,568
セグメント利益	2,345	261	29	2,636	298	2,934	811	2,122

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 811百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 811百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12.62円	23.85円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	752	1,422
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	752	1,422
普通株式の期中平均株式数(千株)	59,653	59,633

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成28年7月29日開催の取締役会において、下記の通り固定資産の譲渡について決議いたしました。

(1) 譲渡の理由

遊休となった固定資産を譲渡し、資産効率の向上及び財務体質の強化を図るためであります。

(2) 譲渡資産の内容

所在地	資産の種類	譲渡前の用途
大阪府寝屋川市木田元宮1丁目 365番1、365番2、365番3、365番4	土地 9,972.45㎡ 建物 5,761.91㎡	遊休資産

(3) 譲渡先の概要

譲渡先および譲渡価額については、譲渡先との取決めにより公表を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社の間には、特記すべき資本関係、人的関係及び取引関係はなく、譲渡先は当社の関連当事者にも該当いたしません。

(4) 譲渡の日程

物件引渡日 平成28年8月31日(予定)

(5) 損益に与える影響

当該固定資産譲渡に伴い、平成28年12月期第3四半期連結会計期間において、特別利益として固定資産売却益1,303百万円を計上する見込みであります。なお、固定資産売却益は、譲渡価額から帳簿価額、譲渡に係る諸費用等の見積額を控除した概算額であります。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 8 月10日

大倉工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 田 明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 越 智 慶 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大倉工業株式会社の平成28年1月1日から平成28年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年1月1日から平成28年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大倉工業株式会社及び連結子会社の平成28年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。